

## 児童発達支援・放課後等デイサービス自己評価表(事業所用)

この評価表は、児童発達支援センター、児童発達支援事業所又は放課後等デイサービス事業所の職員の方に、事業所の自己評価をさせていただくものです。  
 「はい」、「どちらともいえない」、「いいえ」のいずれかに「○」を記入するとともに、「工夫している点、課題や改善すべき点」等について記入してください。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	2		部屋はいくつか分かれているため、利用しやすい。1階・2階に部屋がある為、スペースは確保されている。
	2	職員の配置数は適切であるか	8			各部屋に偏りがないように児童数に応じて、配置も考えている。基本的人員はしっかりと満たしている。
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がい者の特性に応じた設備整備が適切にされているか	1	6	1	入り口や階段などの設備については、今後の検討課題。段差がある為、車椅子での移動は困難。身長が高い児童に対して、階段の段差が高く、降りにくいこともある。
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間が確保できているか	8			毎日の清掃に手を抜かない。清掃や換気を実施して、毎日業務終了後に消毒等を心掛けている。
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか	7	1		朝会で情報共有や情報交換をして常々、改善に努めている。 毎日、時間を作って会議を行っている。
	2	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8			保護者向けのアンケートを定期的に行って、業務改善に努めている。 意向をふまえて活動に取り入れている。
	3	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8			ホームページに公開して、誰でも分かるようにしている。
	4	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	3		アンケート調査により、保護者の意見を知り、朝会で職員同士話し合い業務改善に努めている。
	5	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8			外部研修に参加して学んだことを内部研修を実施して、情報共有出来ている。 順番に研修に参加する体制がある。
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を作成しているか	8			保護者や児童・職員・連携機関などから、情報収集を行い、1人1人にあった個別支援計画の作成に努めている。
	2	児童発達支援ガイドラインや放課後等デイサービスガイドラインに基づき、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画において子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容を記載しているか	8			1人1人必要な項目を設定して、具体的に支援の内容を記載することが出来ている。計画の対象である児童が説明を受けて、分かりやすい言葉を使い、支援内容を記載している。
	3	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を作成しているか	8			1日のプログラムの中で個別活動と集団活動を組み合わせて実施している。 保護者や児童のニーズに合わせて、個別・集団でも計画されている。
	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援が行われているか	8			支援した内容を計画に沿って記録している。 毎日、個別の計画を確認している。
	5	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8			必ず2-3人体制で行っている。 いくつかのグループに分かれて、企画を提案して、実施出来ている。
	6	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか				集団活動は、週ごとで内容が変わるようになっている。 運動・工作・外出支援など活動の場を広げて、意見を出し合っている。
	7	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	2		平日・休日・長期休暇で、個別の時間が取れない時もあるので、別の空いた時間に取る工夫をしている。
	8	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8			朝会を行い、時間の都合上、朝会が行えない日はLINEで支援内容や役割分担を伝えて、各職員が確認をしている。
適切な支援の提供(続き)	9	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	6	2		翌日の朝会で前日の支援の振り返りを行い、意見を共有している。 緊急の場合は、話し合うが、緊急性がないものであれば、朝会で情報共有している。
	10	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8			児童の様子に対応した職員が記入している。 朝会で支援の検証や改善点について話し合っている。正しく記録をとり、日々の支援の改善に繋げている。
	11	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	8			定期的にモニタリングを行い、職員同士が計画を話し合い、見直しが必要と判断を行っている。
関係機関や保護者との連携	1	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	8			児童発達支援管理責任者が担当者会議へ参加すると共に、状況に応じた必要な職員が担当者会議に参加することもある。
	2	<b>(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)</b> 地域の保健、医療、障害福祉、教育、教育等の関係機関との情報共有や連絡調整を適切に行っているか	8			現在は医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもは在籍していない。
	3	<b>(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)</b> 子どもの主治医等や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	8			現在は医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもは在籍していない。
	4	児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小・中)等との間で支援内容等の十分な情報共有が行われているか	5	3		特別支援学校では、支援の情報共有として向上につながっているが、その他の学校でもより詳しく共有できればと思う。個人情報や兼ね合いもあり、提供される情報の幅が狭く、横の繋がりが(関係機関との連携)難しい時もある。
	5	他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供が行われているか	6	1		児童発達支援管理責任者・管理者が適切に十分に伝えている。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	6		研修が出来る機会があれば、積極的に参加している。今後、もっとたくさんの職員が今以上に受講できるような環境整備が必要。
	7	児童発達支援の場での保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4	4		外出支援の際に地域のこどもたちと交流はあるが、それ以外で活動する機会は少ない。
	8	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	5	2	新型コロナウイルスが5類に移行して、実施出来ない状況になったので、今後の検討課題。
保護者への説明責任等	1	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8			利用者の実質負担が発生する場合は、お手紙等で連絡を行っている。契約時や見学時に丁寧に説明を行っている。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明を行っているか	8			ご家族様へ計画を説明する際には、計画を手元を用意して、丁寧に説明を行い、分からないところがあれば質問してもらっている。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか	2	5	1	病院で行うような定型的なペアレントトレーニングは実施出来ていないが、アドバイスやご家族様から相談を受けた際に助言をしている。
	4	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	2		こどもの発達状況や課題について、共通理解が得られるようお迎え時等、話をしたり、話す場を設けたりしている。送迎時等に職員がその日の状況などをご家族様へ伝えたり、また、電話やLINEなどのツールを使って情報共有を行っている。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8			電話やLINEなどのツールを使い、気になることや不安なこと、心配な事など、いつでも相談できる環境を整えている。
保護者への説明責任等(続き)	6	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	6	1	夏場に保護者参加の『バーベキュー』を行う等、活動の場を広げている。今後、状況に応じて開催の検討を行っている。
	7	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8			速やかに管理者に報告・対応を行っている。また、苦情の内容に関しては、随時、朝会等、職員間で共有を行い、改善策の検討を行い、適切な対応に努めている。
	8	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8			送迎時等、必ず情報の伝達・共有を行っている。 LINEやお手紙でも情報伝達している。
	9	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	2		会報は発行していない。SNSやホームページなどで活動の内容を発信している。また、月の行事予定表を作成し、各ご家庭に配布して、1ヶ月の内容等が分かるように情報の発信を行っている。
10	個人情報に十分注意しているか	8			個人を特定できるもの処分にはシュレッダーを使い、情報を持ち出さないように徹底している。また、契約書や個人のアセスメントシートなど、鍵付きのキャビネットに保管し、情報漏洩をしないように個人情報の取り扱いには十分、注意している。SNSの投稿の際は、顔や制服、名札等の個人情報は常に意図して行動している。	
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	8			作成している書面は、適宜、ご家族様にお渡しして、周知徹底を図っている。
	2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8			避難経路・避難場所の確認を行ったり、災害に備えて活動の中で勉強会を開催している。年に数回、定期的に防災訓練が行われている。
	3	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8			1ヶ月に1回、必ず内部研修を行い、虐待防止の研修機会の確保を行っている。
	4	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に記載しているか	8			現在は身体拘束を行う事はないが、必要な判断としての緊急性、一時的、非代替性などを考えてサービスに取り組み、また、身体拘束についても月1回程度研修を実施している。
	5	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7	1		医師の指示書のある児童は現在、利用していないが、事前にご家族様からお預りしているアレルギー食品には注意して、食事(クッキングやおやつ)の提供を行っている。
	6	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	2		ヒヤリハットの作成は行っているものの朝会などで時間が限られている場合、共有が出来ていないことがある。その場合は書面が残っているので、書面を閲覧して情報共有を行っている。